

平成24年度 第3回公立大学法人鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日 時 平成24年7月31日(火) 14:00～15:30
- 場 所 鳥取環境大学 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 古澤巖理事長、河原正彦副理事長、田中洋介理事、道上正規理事、若原道昭理事、林田英樹委員、吉田圭子委員
[7名/10名]

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案了承

2 報告事項

(1) 近況報告

事務局から、資料に基づき、在籍者の状況、平成24年度就職活動の状況等大学の近況について報告があった。

(2) 平成24年度卒業式・学位授与式並びに平成25年度入学式日程について

事務局から、資料に基づき、平成24年度卒業式・学位授与式並びに平成25年度入学式の日程について報告があった。

3 審議事項

(1) 公立大学法人鳥取環境大学職員給与規程の一部改正について

事務局から、資料に基づき公立大学法人鳥取環境大学職員給与規程の一部改正についての説明があり、審議の結果原案のとおり承認された。

(2) 公立大学法人鳥取環境大学の事務局に置く職に関する規程の一部改正について

事務局から、資料に基づき公立大学法人鳥取環境大学の事務局に置く職に関する規程の一部改正についての説明があり、審議の結果原案のとおり承認された。

(3) 平成24年度補正予算(第1回)について

事務局から、資料に基づき平成24年度補正予算(第1回)についての説明があり、審議の結果原案のとおり承認された。

委員による主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見、→:回答)

○P28 注意書きの運営費交付金と施設費補助金の合計は、国からの交付税措置見込

額の範囲内とあるが、範囲内とはどういうことか。ぎりぎりなのか、ゆとりがあるのか。

→記載している数字は当初確定していない段階の推計。今年度の算定額が決まり実際は8000万円ぐらい多くなる予定である。大学に対する運営費交付金等算出にあたっては、地方交付税の枠内で支出するという公立化の一番大きな原則に基づき、数字比較が出来るように記載している。

○予算の使い方、費目の流用についてはどのような制度になっているか。英語村等外部の評価がよい事業については機動的・弾力的な措置ができるようにしたほうがよい。

→基本は事業目的ごとに予算編成する。目的内であれば流用は可能としている。大きな枠としては、例えば人件費と教育・研究費の費目間であれば補正するが、事業目的内であれば流用により執行は可能な規程としている。

(4) 公立大学法人鳥取環境大学資金管理方針について

事務局から、資料に基づき公立大学法人鳥取環境大学資金管理方針についての説明があり、審議の結果原案のとおり承認された。

4 協議事項

(1) 平成24年度 年度計画【骨子】について

事務局から、資料に基づき平成24年度 年度計画【骨子】についての説明があり、次回審議会でも内容を精査のうえ審議することとなった。